



# KUMAMOTO GREEN

The Weekly Bulletin

# Rotary-Club



世界へのプレゼントになろう

2015-2016年度  
テーマ

国際ロータリー 「世界へのプレゼントになろう」

地区方針 「ロータリーの活動を通して、新たな気づきを、そして自己の成長へつなげよう」

熊本グリーンR.C. 「ロータリーの可能性に挑む」

R.I. 会長 K.R. “ラビ”ラビンドラン

R.I. 2720 地区 ガバナー 野田三郎

熊本グリーンR.C. 会長 大友利行

■例会日：毎週月曜日 18:30~19:30  
■例会場：熊本市中央区城東町4-2 熊本ホテルキャッスル  
TEL096-326-3311

■創立：平成元年2月22日 ■会長：大友 利行 ■幹事：荒木 一之 ■会報担当：長野 義文  
■事務所：熊本市中央区城東町4-2 熊本ホテルキャッスル内  
TEL096-354-4521 FAX096-354-4053 E-mail:kgrc@serc2720.org

## 国際ロータリー 第2720地区 熊本グリーンロータリークラブ週報

【2016年2月29日】

第1208回  
2015-2016年度 第28回

【例会】

1. 開会・点鐘 18:30
2. 食事と交歓

「奉仕の理想」(ロータリーソング)

来訪者紹介 (大友 利行 会長)

なし

友情の握手

会長スピーチ (大友 利行 会長)

先週は教科書の記載の変化をお話しましたが、同じ著者の江戸の火事の話も面白く、今日はその話です。江戸の三大大火として、1657年明暦の大火、1772年目黒行人坂の火事、1806年丙寅(へいいん)火事が有名です。この時代は、家が密集して、道路も狭く、火事は大変な災難でした。明暦の大火は正月18日、目黒行人坂の火事は2月29日で244年前の今日ということになります。もちろん旧暦ではありますが…。共に寺院から出火したとされています。前者では、法華宗本妙寺で、老中に頼まれて火元を引き受けたとの記述が残っていて、黒木喬著「明暦の大火」では、本妙寺住職に火元を依頼したのは、江戸の都市計画を司る老中、松平信綱ではないかと推測されています。江戸の都

市計画を火事を使って実行したのかと、まさかそんなことが…とも思われますが。

事実、この火事で家の庇を取り除いて、道路を広くし、火よけのための広小路を設け、その様に江戸は一新され、発展します。江戸城の櫓も焼失して、その礎だけ今も残っています。1月18日~20日の火事で、大名屋敷160、旗本屋敷770余、消失した町屋が4百町にのぼったとの事です。

後者は、目黒行人坂にある大園寺から出火、白金、麻布から日比谷、日本橋、神田、浅草と広がって、また別に本郷からも出火、駒込、千駄木、谷中方面も延焼。寺社187、大名屋敷178、万石以下の屋敷8705、町数624町、死者6761人であったといひます。(国史大辞典)寒い冬には火の用心という事でしょう。

幹事報告 (荒木 一之 幹事)

■報告事項(その他のロータリー関係)

①「熊本菊南RC創立30周年記念式典・祝賀会」

日時：平成28年6月4日(土)

受付：14:30~

式典：15:00~17:30

講演：「一言芳恩(いちごんほうおん)を胸に日本留学がくれたもの」元米山奨学生 李智麗(リチイ)さん

卓話  
予定

- 3/7 「熊本グリーンR.C.創立27周年記念例会」  
★アトラクション 元グリーンRAC 上田由美さん(かおる)・野本秀一氏(ひろし)
- 3/17 「熊本北R.C.との合同例会」★3/14(月)→3/17(木)に例会変更  
卓話：「永田町&霞が関&ふるさと再生&立志学舎」倉田榮喜会員
- 3/21 祝日(春分の日)の為、例会取り止め

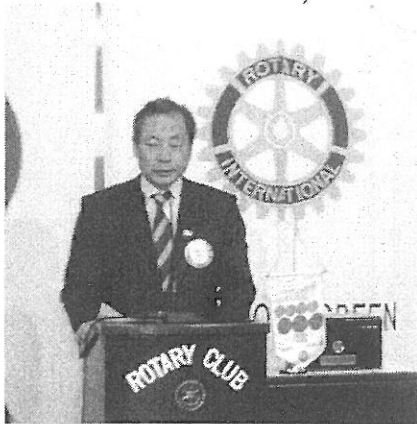
【熊本グリーンR.C.ホームページアドレス】 <http://www.kg-rc.com/>

グリーン・クラブの例会日がきても、出席するかどうか決めるには及ばません。というのは、私にとって出席は決まりきった事だからです。これは、ロータリーに入会したとき受入れた義務の一つです。



### 3. 例会プログラム

#### 卓話者 河島 一夫 会員 「日本で作られた世界地図」



##### 江戸期における世界地図の出版について

江戸時代の約250年に、約40種類の世界地図が作成され販売されたり、贈答されたりしている。その中で、特に有名なものを5つ紹介する。幕末になる以前から、武士に限らずある程度の人達は、世界のことを知っていたのである。

日本で作成された地図には、大きく2種類に分けられる。卵形(オルテリウス図、マテオ・リッチ図)と両半球世界図(幕末にはこの図式が多い)である。出島から多くの世界地図が流入していたことがわかる。

#### 1.万国総図 正保2年(1645)刊 木版彩色

縦135・5 糎 横57・6 糎 マテオ・リッチの卵形図法、文字は書込みしてある。

日本で出版された最初の世界地図。この地図には人物図が付いていて、この人物図で一对である。「於肥州彼杵郡長崎津開板」とあり、長崎にて出版し販売された事がわかる。

現存するもの大変少なく一对であるのは、2・3部であろう。揃いで状態がよければ、4000万円程、幅仕立てで販売されたと思える。

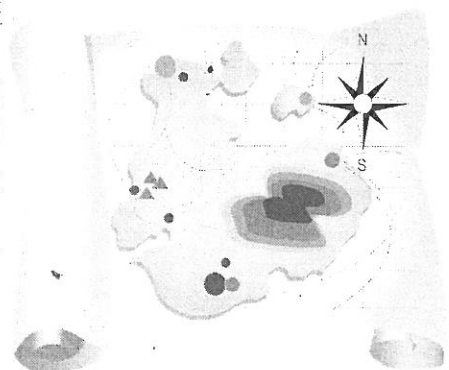
#### 2.銅版地球全図并略説 司馬江漢刊 寛政4・5年(1793・4) 1 舗1 冊

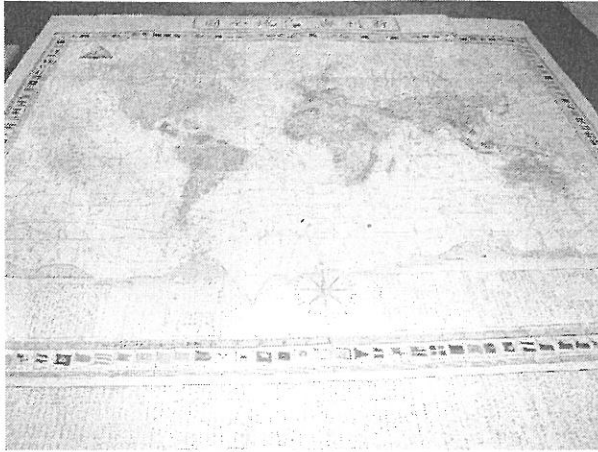
大きさ縦54・7 糎 横91 糎 図面は右に西半球、左に東半球を描く。日本で最も早い銅版の地図。四隅は、日蝕・月食・初月・満月の時の太陽と地球と月との相対的位置を配している。江漢は、この世界地図により、洋学者及び銅版画家として有名人となる。解説書を翌年に刊行する。現在の価格は500万円前後

#### 3.新訂万国全図 高橋景保編 文化7年(1811)刊

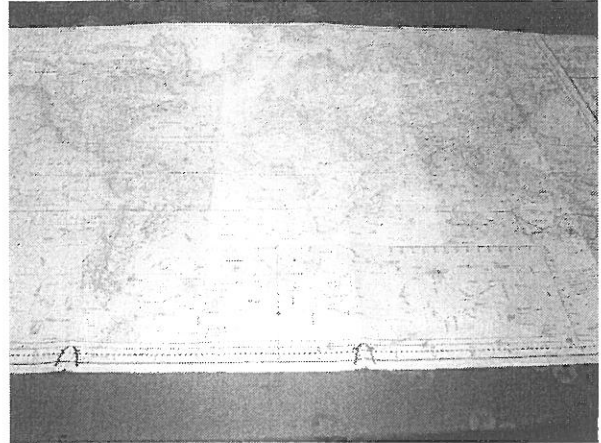
縦103・7 糎、横182・3 糎 極大型の地図 筆彩色

世界で最も正確な世界地図として、西欧の地図学でも高く評価されている地図。幕府の天文学者・地理学者としての高橋景保は、幕命により世界地図を作成。この地図には、高橋の依頼で間宮林蔵が明らかにした間宮海峡も始めて掲載される。同時に最正確の銅版製作者としての亜欧堂田善(あおうどうでんぜん)の名声も確立した。現在の価格は500万円程





官許新刊輿地全図 1860年刊  
綺麗な木版の地図です



新鑄万国航海図 (1858年刊)  
銅板色刷りの航海図

#### 4. 重訂万国全図 山路諧孝 安政2年(1855)刊

縦114 糎 横197・5 糎 極大型の地図 木版彩色

「新訂万国全図」の作成から40年後に、幕府は天文学者の山路諧孝にその改訂を命じ作成させたもの。当時入手できる世界地図を集め作成したもの。地名が大変詳しく記載される。また、間宮海峡の経緯度も修正されている。木版印刷とは思えないほど綿密な地図である。現在の価格は200万円程

#### 5. 円球万国地海図 薩摩・石塚崔嵩 享和2年(1802)刊

縦120 糎 横220 糎 極大型の地図 木版彩色

薩摩の藩主島津重豪(しげひで)は、家臣で天文学者の石塚崔嵩(さいこう)に世界地図の作成を命じて作らせたもの。特徴は、地名や説明文が全て漢字や漢文によって書かれている。また、四隅に天球儀を描き宇宙観も持たせている。薩摩藩の費用で作らせた立派な地図である。価格は400万~500万円程

#### 持参の地図と書籍

1、官許新刊輿地全図 庄内藩・佐藤政養 文久元年(1860)刊 136×136

木版 彩色 地図の周りに各国の国旗を掲載

2、新鑄万国航海図 駿河 武田簡吾 安政5年(1858)序 89×158

銅版 色刷 エ、スシルが1862年校閲

3、地球万国方図 英国ミッチュール原図 明治4月刊 122×99

橋爪貫一校閲 銅版 彩色 地図の回りに国旗を配する

4、万国略説 3冊 司馬江漢著

日本に地動説を紹介すると共に、宇宙と地球の関係を説いた書籍

5、西洋旅案内 3冊 福澤諭吉 慶應3年刊

日本で初めての欧州旅行案内記、これだけでも諭吉の知識と進んだ考え方が解る

#### 4. 閉会・点鐘